



2024年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年4月12日

上場会社名 SFPホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3198 URL https://www.sfpdining.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 誠
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 坂本 聡 (TEL) 044(750)7154
 定時株主総会開催予定日 2024年5月24日 配当支払開始予定日 2024年5月7日
 有価証券報告書提出予定日 2024年5月24日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期の連結業績(2023年3月1日~2024年2月29日)

(1) 連結経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期	29,079	26.9	2,026	—	2,236	41.2	1,731	214.9
2023年2月期	22,913	120.2	△754	—	1,583	△28.1	549	△68.5

(注) 包括利益 2024年2月期 1,685百万円(173.1%) 2023年2月期 617百万円(△63.5%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年2月期	71.00	—	17.1	14.5	7.0
2023年2月期	21.32	—	4.4	9.4	△3.3

(参考) 持分法投資損益 2024年2月期 4百万円 2023年2月期 10百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年2月期	13,303	7,744	58.2	339.84
2023年2月期	17,574	12,540	71.4	486.27

(参考) 自己資本 2024年2月期 7,744百万円 2023年2月期 12,540百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年2月期	2,194	△848	△6,043	4,516
2023年2月期	4,226	△95	△667	9,214

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年2月期	—	10.00	—	10.00	20.00	515	93.8	4.1
2024年2月期	—	11.00	—	12.00	23.00	557	32.4	5.6
2025年2月期(予想)	—	13.00	—	13.00	26.00		45.3	

3. 2025年2月期の連結業績予想(2024年3月1日~2025年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	30,000	3.2	2,100	3.6	2,300	2.8	1,500	△13.4	65.82

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年2月期	22,813,689株	2023年2月期	25,788,689株
② 期末自己株式数	2024年2月期	25,385株	2023年2月期	305株
③ 期中平均株式数	2024年2月期	24,386,681株	2023年2月期	25,788,384株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年2月期の個別業績（2023年3月1日～2024年2月29日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期	3,477	38.8	1,226	414.1	1,428	181.2	913	740.4
2023年2月期	2,505	28.1	238	—	507	247.6	108	△94.3
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年2月期	37.44		—					
2023年2月期	4.21		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2024年2月期	12,473		7,165		57.4	314.45		
2023年2月期	16,543		12,734		77.0	493.81		

(参考) 自己資本 2024年2月期 7,165百万円 2023年2月期 12,734百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(連結損益計算書関係)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類感染症に移行されたことで、人流が徐々に拡大し、インバウンド需要の増加等も相まって緩やかな回復の兆しが見えています。一方で、物価の上昇や急激な為替変動、世界的な金融引き締めによる経済活動の減速など、先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、インバウンド需要が引き続き旺盛であり、売上は年間を通じてコロナ前を上回り堅調に推移しております。当社が主に展開する居酒屋業態では、人流回復やインバウンド客の増加により昨年比では売上を伸ばしているものの、団体や深夜帯利用の回復は緩やかなものに留まっております。

このような状況の中で当社グループは、引き続き固定費の増加抑制に努めるとともに、食材価格の高騰を踏まえたメニュー改定や臨機応変な営業時間の見直し、人材採用の積極化など、収益性の改善に向けた取組みを推し進めてまいりました。また、出店戦略においては、小型かつ低投資の大衆酒場業態の開発・出店を継続するとともに、地方都市での出店にも注力しております。

鳥良事業部門においては、「鳥良商店」を2店舗退店し、当連結会計年度末現在の店舗数は35店舗となり、当連結会計年度の売上高は5,165百万円（前期比19.3%増）となりました。

磯丸事業部門においては、「磯丸水産」を2店舗出店いたしました。一方で、「磯丸水産」1店舗を「焼きとんふく助」へ業態転換したほか、「磯丸水産」を6店舗退店いたしました。また、「磯丸水産食堂」をフランチャイズで1店舗出店し、当連結会計年度末現在の店舗数は直営99店舗、フランチャイズ16店舗となり、当連結会計年度の売上高は17,614百万円（前期比26.5%増）となりました。

その他部門においては、「五の五」を3店舗出店したほか、「五の五」を「浜焼ドラゴン」から、「焼きとんふく助」を「磯丸水産」からの業態転換により各1店舗出店いたしました。一方で、「きづなすし」を1店舗退店し、当連結会計年度末現在の店舗数は30店舗となり、当連結会計年度の売上高は4,253百万円（前期比35.4%増）となりました。

フードアライアンスメンバー（連結子会社）においては、株式会社ジョー・スマイルが「光の森珈琲」を「前川珈琲レストラン」から、「天草水軍」を「前川水軍」からの業態転換により各1店舗出店し、一方で、「平陽珍」を1店舗退店いたしました。また、株式会社クルークダイニングが「磯丸水産」及び「抹茶館」を各1店舗出店し、一方で、「豚さん食堂」を1店舗、「からあげセンター」2店舗（うち、1店舗はフランチャイズ）を退店いたしました。その結果、当連結会計年度末現在の店舗数は株式会社ジョー・スマイルが12店舗、株式会社クルークダイニングが13店舗となり、当連結会計年度の売上高は2,046百万円（前期比35.2%増）となりました。

なお、当連結会計年度において、店舗固定資産の減損損失を398百万円計上した一方で、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、繰延税金資産を498百万円追加計上し、法人税等調整額（益）を492百万円計上しております。

以上の結果、当連結会計年度末の総店舗数は、直営189店舗、フランチャイズ16店舗となり、当連結会計年度における当社グループの売上高は29,079百万円（前期比26.9%増）、営業利益は2,026百万円（前期は営業損失754百万円）、経常利益は2,236百万円（前期比41.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,731百万円（前期比214.9%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ4,271百万円減少し、13,303百万円となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ4,478百万円減少し、5,906百万円となりました。これは主に、現金及び預金が4,734百万円減少したことによるものです。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ207百万円増加し、7,396百万円となりました。これは主に、有形固定資産が216百万円、無形固定資産が44百万円減少した一方で、投資その他の資産が467百万円増加したことによるものです。

(流動負債)

当連結会計年度末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ722百万円増加し、4,407百万円となりました。これは主に、未払消費税等の減少によりその他が365百万円減少した一方で、短期借入金700百万円、未払法人税等が316百万円増加したことによるものです。

(固定負債)

当連結会計年度末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ197百万円減少し、1,151百万円となりました。これは主に、長期借入金220百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ4,795百万円減少し、7,744百万円となりました。これは主に、利益剰余金が1,189百万円増加した一方で、自己株式の消却により資本剰余金が5,890百万円減少したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ4,698百万円減少し、4,516百万円となりました。当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況とその主な増減要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動により得られた資金は、2,194百万円となりました(前連結会計年度は4,226百万円の資金増)。これは主に、税金等調整前当期純利益1,780百万円、現金支出を伴わない減価償却費618百万円、減損損失398百万円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動により使用した資金は、848百万円となりました(前連結会計年度は95百万円の使用)。これは主に、新規出店や改装のための有形固定資産の取得による支出778百万円、敷金及び保証金の差入による支出104百万円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動により使用した資金は、6,043百万円となりました(前連結会計年度は667百万円の使用)。これは主に、自己株式の取得による支出5,940百万円があったことによるものです。

(4) 今後の見通し

2025年2月期につきましては、訪日観光客増加の追い風が続く一方で、人件費や光熱費、新規出店にかかる費用が増加する見込みですが、中期的な成長のため積極的な投資をおこなう方針です。

以上を踏まえ、次期の連結業績につきましては、売上高30,000百万円、営業利益2,100百万円、経常利益2,300百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,500百万円を計画しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の企業間の比較可能性等を考慮し、日本基準で連結財務諸表を作成しております。

なお、国際会計基準(IFRS)の適用につきましては、外国人株主比率の推移や国内の同業他社の適用状況等を踏まえ、必要に応じて検討する方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当連結会計年度 (2024年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,252,562	4,518,538
売掛金	506,981	767,528
原材料及び貯蔵品	126,526	116,601
関係会社短期貸付金	20,000	—
未収入金	110,501	143,099
その他	368,799	360,956
流動資産合計	10,385,372	5,906,724
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,915,372	7,661,947
減価償却累計額	△4,365,632	△4,535,119
建物及び構築物（純額）	3,549,740	3,126,828
工具、器具及び備品	1,972,906	1,617,786
減価償却累計額	△1,825,614	△1,251,670
工具、器具及び備品（純額）	147,291	366,115
土地	11,570	11,570
リース資産	210,261	204,166
減価償却累計額	△188,614	△190,818
リース資産（純額）	21,646	13,348
建設仮勘定	5,986	2,986
その他	12,284	12,284
減価償却累計額	△10,368	△11,180
その他（純額）	1,915	1,103
有形固定資産合計	3,738,150	3,521,952
無形固定資産		
のれん	313,699	270,838
その他	11,502	10,079
無形固定資産合計	325,201	280,917
投資その他の資産		
繰延税金資産	164,470	662,807
敷金及び保証金	2,840,106	2,801,542
その他	121,341	129,533
投資その他の資産合計	3,125,918	3,593,883
固定資産合計	7,189,270	7,396,753
資産合計	17,574,643	13,303,477

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当連結会計年度 (2024年2月29日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	685,435	766,665
短期借入金	205,000	905,000
1年内償還予定の社債	50,000	—
1年内返済予定の長期借入金	120,480	128,640
未払費用	959,296	989,476
未払法人税等	145,869	462,684
賞与引当金	173,696	176,294
株主優待引当金	112,368	115,563
店舗閉鎖損失引当金	23,767	19,218
資産除去債務	19,200	18,903
その他	1,190,470	825,467
流動負債合計	3,685,584	4,407,913
固定負債		
長期借入金	243,280	22,540
退職給付に係る負債	320,728	364,318
資産除去債務	685,593	682,971
繰延税金負債	20,087	2,727
その他	79,188	78,614
固定負債合計	1,348,877	1,151,172
負債合計	5,034,461	5,559,085
純資産の部		
株主資本		
資本金	49,340	49,340
資本剰余金	6,396,159	505,659
利益剰余金	6,069,493	7,259,351
自己株式	△519	△50,177
株主資本合計	12,514,473	7,764,173
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	25,707	△19,781
その他の包括利益累計額合計	25,707	△19,781
非支配株主持分	—	—
純資産合計	12,540,181	7,744,392
負債純資産合計	17,574,643	13,303,477

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)	当連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)
売上高	22,913,271	29,079,640
売上原価	6,712,795	8,406,739
売上総利益	16,200,475	20,672,901
販売費及び一般管理費	16,955,224	18,645,916
営業利益又は営業損失(△)	△754,748	2,026,984
営業外収益		
協賛金収入	219,951	224,520
助成金収入	* 2,076,728	* 315
持分法による投資利益	10,985	4,384
その他	39,101	23,183
営業外収益合計	2,346,766	252,404
営業外費用		
支払利息	1,737	2,864
支払手数料	—	21,206
その他	6,413	18,679
営業外費用合計	8,151	42,750
経常利益	1,583,866	2,236,639
特別利益		
受取補償金	22,000	—
店舗閉鎖損失引当金戻入額	12,550	12,909
特別利益合計	34,550	12,909
特別損失		
固定資産除却損	3,886	33,696
減損損失	833,545	398,754
店舗閉鎖損失	29,609	17,167
店舗閉鎖損失引当金繰入額	23,767	19,218
特別損失合計	890,808	468,837
税金等調整前当期純利益	727,608	1,780,711
法人税、住民税及び事業税	163,309	541,498
法人税等調整額	14,489	△492,199
法人税等合計	177,798	49,298
当期純利益	549,810	1,731,413
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	549,810	1,731,413

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)	当連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)
当期純利益	549,810	1,731,413
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	67,496	△45,489
その他の包括利益合計	67,496	△45,489
包括利益	617,307	1,685,924
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	617,307	1,685,924
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益 累計額		非支配 株主持 分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	退職給付に係 る調整累計額	その他の包括 利益累計額 合計		
当期首残高	49,340	6,396,159	6,035,450	△519	12,480,430	△41,788	△41,788	—	12,438,641
当期変動額									
剰余金の配当			△515,767		△515,767				△515,767
親会社株主に 帰属する 当期純利益			549,810		549,810				549,810
株主資本以外の 項目の当期 変動額(純額)						67,496	67,496	—	67,496
当期変動額合計	—	—	34,042	—	34,042	67,496	67,496	—	101,539
当期末残高	49,340	6,396,159	6,069,493	△519	12,514,473	25,707	25,707	—	12,540,181

当連結会計年度(自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益 累計額		非支配 株主持 分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	退職給付に係 る調整累計額	その他の包括 利益累計額 合計		
当期首残高	49,340	6,396,159	6,069,493	△519	12,514,473	25,707	25,707	—	12,540,181
当期変動額									
剰余金の配当			△541,555		△541,555				△541,555
親会社株主に 帰属する 当期純利益			1,731,413		1,731,413				1,731,413
自己株式の取得				△5,940,158	△5,940,158				△5,940,158
自己株式の消却		△5,890,500		5,890,500	—				—
株主資本以外の 項目の当期 変動額(純額)						△45,489	△45,489	—	△45,489
当期変動額合計	—	△5,890,500	1,189,858	△49,658	△4,750,300	△45,489	△45,489	—	△4,795,789
当期末残高	49,340	505,659	7,259,351	△50,177	7,764,173	△19,781	△19,781	—	7,744,392

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)	当連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	727,608	1,780,711
減価償却費	608,345	618,705
減損損失	833,545	398,754
のれん償却額	322,164	42,861
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,288	2,598
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	△25,163	3,194
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	△26,419	△4,548
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	87,293	△25,395
支払利息	1,737	3,000
売上債権の増減額 (△は増加)	△414,907	△260,547
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△40,652	9,925
仕入債務の増減額 (△は減少)	560,674	81,230
未払消費税等の増減額 (△は減少)	756,861	△401,423
その他の資産の増減額 (△は増加)	669,642	48,498
その他	229,358	124,819
小計	4,285,802	2,422,383
利息の受取額	134	30
利息の支払額	△1,708	△3,012
法人税等の支払額	△57,692	△224,683
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,226,535	2,194,717
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△154,723	△778,603
資産除去債務の履行による支出	△47,891	△24,509
無形固定資産の取得による支出	△837	—
貸付金の回収による収入	—	20,000
定期預金の預入による支出	△27,000	△9,000
定期預金の払戻による収入	15,000	45,000
敷金及び保証金の差入による支出	△29,127	△104,977
敷金及び保証金の回収による収入	172,193	65,951
その他	△22,840	△62,628
投資活動によるキャッシュ・フロー	△95,226	△848,765
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	700,000
長期借入金の返済による支出	△149,520	△212,580
社債の償還による支出	—	△50,000
配当金の支払額	△518,357	△541,237
自己株式の取得による支出	—	△5,940,158
財務活動によるキャッシュ・フロー	△667,877	△6,043,975
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,463,431	△4,698,024
現金及び現金同等物の期首残高	5,751,130	9,214,561
現金及び現金同等物の期末残高	9,214,561	4,516,537

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結損益計算書関係)

※ 助成金収入の内容は、新型コロナウイルス感染症に係る雇用調整助成金及び時短協力金等です。

(セグメント情報等)

当社グループは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)	当連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)
1株当たり純資産額	486円27銭	339円84銭
1株当たり当期純利益	21円32銭	71円00銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)	当連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	549,810	1,731,413
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	549,810	1,731,413
普通株式の期中平均株式数(株)	25,788,384	24,386,681

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前連結会計年度末 (2022年2月28日)	当連結会計年度末 (2024年2月29日)
純資産の部の合計額(千円)	12,540,181	7,744,392
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	12,540,181	7,744,392
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	25,788,384	22,788,304

(重要な後発事象)

該当事項はありません。